

国際コンテナ戦略港湾政策の取組について



令和5年2月24日
川崎市港湾局

川崎港の概要について

1 川崎港の概要



○京浜工業地帯の中核を成す工業港およびエネルギー供給基地として首都圏の産業と市民生活を支えており、近年は、商港機能の中心である東扇島のロジスティクス機能の充実により、首都圏の物流拠点としての役割を担っている。

○川崎臨海部には約2400事業所が立地し、約63,000人の従業員が働いている。

川崎港の主な拠点等

東扇島総合物流拠点地区

コンテナターミナルの背後約23haに、港湾物流機能高度化にふさわしい企業の立地誘導を図り、かわさきファス物流センターをはじめとした物流施設が集積



川崎港コンテナターミナル

岸壁：水深14m
延長431m
面積：24.5ha

- ・年間約16万TEUのコンテナを取扱（R2年実績）
- ・H24年以降の航路開設に伴い、中国・東南アジアとの輸出入を中心に取扱量が増加
- ・H28.4より、特定港湾運営会社が運営



【扇町地区】
・化学工業、バイオマス発電所などが立地

【水江町地区】
・鉄鋼業、製油所等が立地
・川崎ゼロ・エミッション工業団地が立地
・東扇島と水江町を結ぶ臨港道路を整備中

千鳥町公共埠頭

- ・砂利・砂、金属くずなど、多種多様なバラ貨物を取り扱う物流拠点



【浮島町地区】
・石油コンビナートを形成

東扇島東公園

- ・人工海浜、多目的広場等を備えた大規模公園
- ・災害時は基幹的広域防災拠点として活用

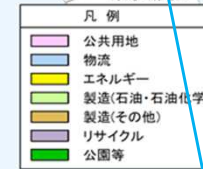


鉄鋼関係

エネルギー関係

石油関係

物流関係



【扇島地区】
・鉄鋼業、太陽光発電所、風力発電所、リサイクルセンターなどが立地

外資埠頭

岸壁：水深12m
延長240m×7B



- ・完成自動車の輸出拠点

内資埠頭

岸壁：水深7.5m
延長130m×11B

廃棄物海面処分場

- ・廃棄物処分場として埋立護岸築造工事を実施中
- ・面積73ha
- ・H12年～受入



2 川崎港のコンテナ定期航路網

平成23年4月に国から京浜港が国際戦略港湾に指定されたことに伴い、川崎港のコンテナ利用の一層の拡大を図るため、官民で構成する「川崎港戦略港湾推進協議会」を発足し、積極的にポートセールスを行った結果、中国や東南アジア航路が増加している。また、はしけにより、東京港・横浜港を通じて世界各港と結ばれている。

○コンテナ定期航路数の変遷

⇒H24 4航路（青島との新規航路開設、冷凍冷蔵食品の輸入貨物増加に寄与）

⇒H27 6航路（上海・ハイフォン航路の2便化、大手荷主のさらなる利用促進に寄与）

⇒H30 9航路（タイとの新規航路開設・冷凍冷蔵食品の輸入貨物増加に寄与） ⇒ 現在 10航路

No	航路 (サービス名)	開設年次(便数)					主な相手港
		H8～	H24～	H27～	H30～	R4～	
1	韓国 (BKH)	H8.7月 開設				(週1便)	釜山
2	東南アジア (JID)	H10.4月 開設				(週1便)	シンガポール/ジャカルタ
3	中国 (LKT/SKT2)		H24.5月 開設 ★			(週2便)	連雲港/青島/上海
4	中国・ベトナム (CJV3)		H24.10月 開設 ★			(週1便)	上海/ハイフォン
5	中国・ベトナム (CJV6)			H27.3月 開設 ★		(週1便)	蛇口/ハイフォン/ダナン
6	中国 (PBT1)			H27.9月 開設 ★		(週1便)	大連/天津新港
7	中国 (TKX2)				H30.2月 開設 ★	(週1便)	大倉/舟山
8	タイ (VTX3)				H30.4月 開設 ★	(週1便)	レムチャバン/ホーチミン/蛇口
9	中国・東南アジア (NS5)				H30.4月 開設 ★	(週1便)	ポートケラン/ホーチミン/基隆
10	中国・韓国 (NSP)					R4.1月 開設 (週1便) ★	釜山/上海
11	内航	H20.11月～				(週3～4便)	名古屋港/四日市港/広島港
12	はしけ	H19.3月～				(週2～3便)	東京港⇔世界各港 横浜港⇔世界各港

↑ (H23) 国際戦略港湾に指定

国際コンテナ戦略港湾政策の取組について

3 コンテナ戦略港湾政策の推進体制



1 川崎港戦略港湾推進協議会

【設置目的】

○国際戦略港湾「京浜港」の一翼を担う川崎港のコンテナ利用の一層の拡大を図るため、官民一体となって課題や方策を検討し、コンテナ貨物集荷とサービス水準の向上を効果的かつ強力に推進すること。

川崎港戦略港湾推進協議会の組織体制

■ 川崎港戦略港湾推進協議会

【委員構成】 ◎会長 ●副会長

- ◎川崎港振興協会会長
- 川崎市港湾局長
- ・川崎港運協会会長
- ・川崎商工会議所副会頭

■ 施設計画部会

コンテナターミナル施設・設備の整備及び改良に係る計画の審議検討並びに改善策の検討及び実施

【主な構成団体】

- ・川崎港運協会
- ・川崎港振興協会
- ・川崎港湾労働組合協議会

■ ポートセールス部会

川崎港のコンテナに係るポートセールス、広報、他港との交流活動等に係る計画の策定と実施

【主な構成団体】

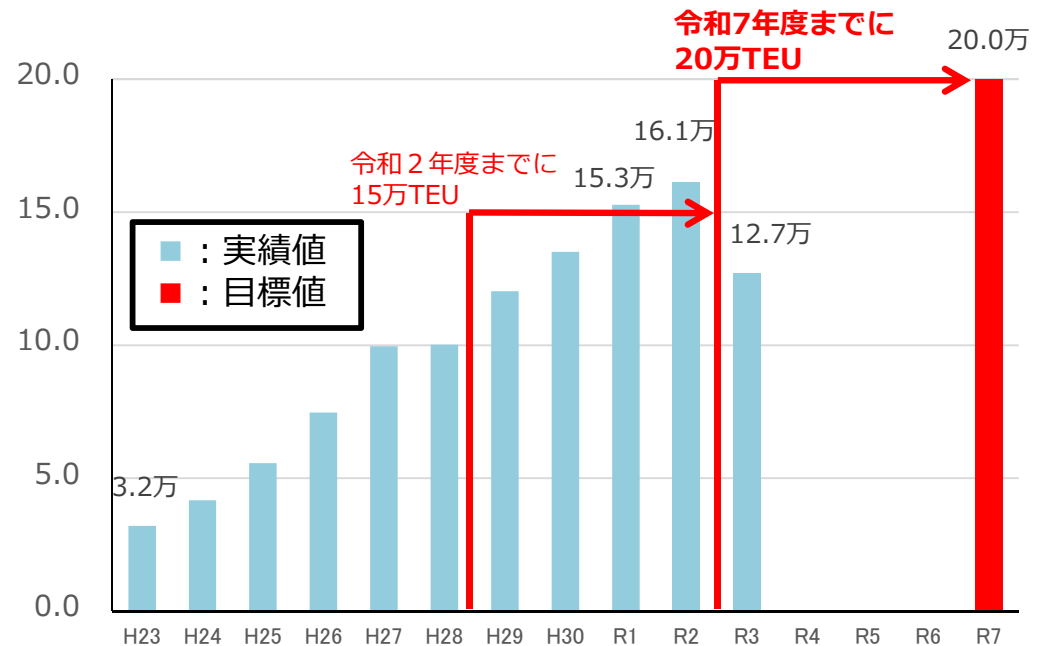
- ・川崎港振興協会
- ・川崎港運協会
- ・川崎商工会議所

2 コンテナ取扱貨物量の官民目標

○官民で構成する川崎港戦略港湾推進協議会で平成28年度に掲げた令和2年度までに年間コンテナ取扱貨物量15万TEUとする目標について、令和元年度には15万TEU超え、目標を前倒して達成した。

○その後、令和2年度に掲げた令和7年度までの年間コンテナ取扱貨物量20万TEU達成に向け、官民一体となって、積極的なポートセールスや、取扱能力向上のためのコンテナ関連施設の整備及び荷役機械の導入など、ソフト・ハード両面での取組を推進している。

川崎港コンテナターミナルのコンテナ取扱貨物量
(単位：TEU) ※ターミナル調べ





川崎港戦略港湾推進協議会を中心に官民一体となった積極的なポートセールスを展開

- 荷主の要望に沿った航路の誘致（青島航路、タイ航路）
 - ⇒ターミナル直背後の冷凍冷蔵倉庫（国内最大級）を利用する荷主のニーズの取込
- 船社に影響を持つ荷主に働きかけ、定期航路の新設などにつなげる。
 - ⇒スムーズにコンテナを搬出入できる定時性に優れたターミナルである点などを荷主にアピール
- 官民協働で川崎港プロモーション動画を製作し、YouTubeへの公開
 - ⇒荷主等へのポートセールスに活かしている。



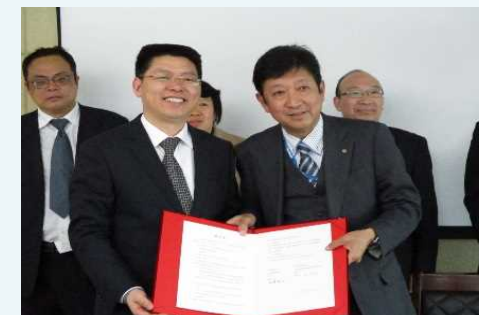
青島にて川崎港レセプション



タイ航路の新規開設



川崎市長のダナン港訪問



連雲港との覚書更新

川崎港のコンテナ貨物補助制度

概要

- ◆川崎港への集貨、国際コンテナ戦略港湾である京浜港の国際競争力強化に向けた取組の一環として実施
- ◆荷主、船社、市内中小企業等を対象に9事業を実施

コンテナターミナル利用船舶の入港料減免

概要

- ◆コンテナターミナルの取扱貨物量の増加、定期コンテナ航路の新規開設や長期利用の継続を図る。
- ◆京浜港共通の減免以外でも独自に実施

5 国際コンテナ戦略港湾政策の取組【創貨】



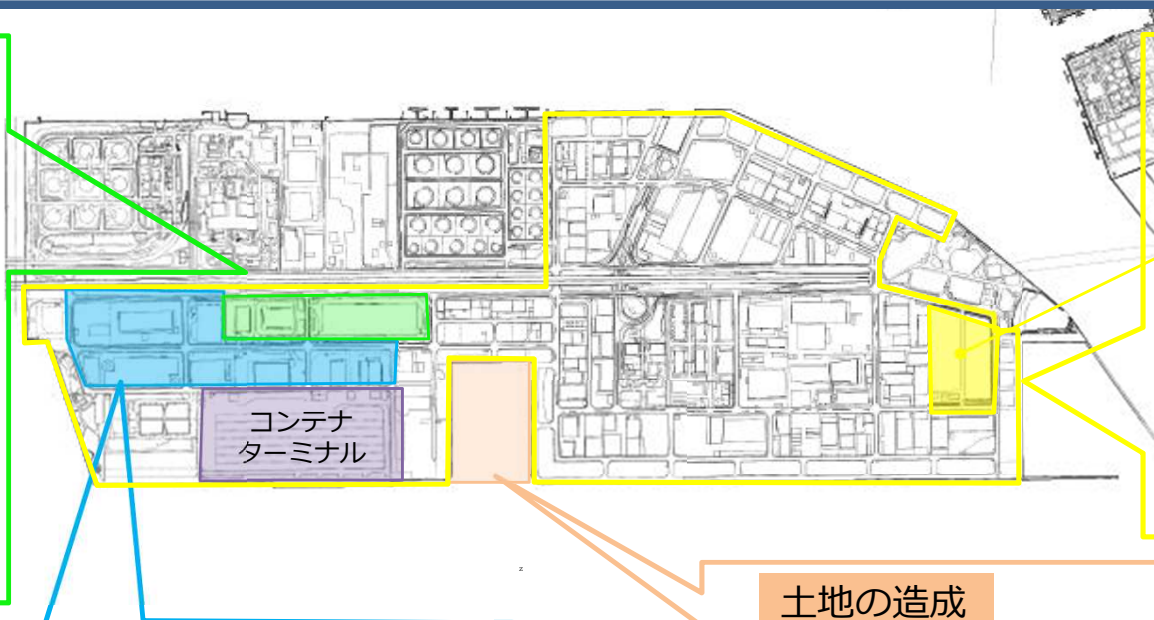
川崎港コンテナターミナルが立地する東扇島において、物流施設用地の提供、土地の造成や高度利用を推進するとともに、かわさきファズ（株）による総合保税地域の運営などを実施している。

総合保税地域の運営

＜実施主体＞ かわさきファズ（株）

＜施設概要＞

- ・ 冷凍冷蔵倉庫のほか、高圧電力、蒸気、排水施設等の設備を備え、様々な流通加工に対応可能な総合物流センター
- ・ A、B、C棟の全3棟、延床面積は合計23万㎡。
- ・ 施設入居率100%、32社が入居



土地の高度利用

○商港区、容積率400%

（整備事例）

ESR東扇島ディストリビューションセンター

- ・ 令和5年3月31日竣工(予定)
- ・ 面積77,725㎡
- ・ 延床349,639㎡の9階建てマルチテナント型施設

物流施設用地の提供

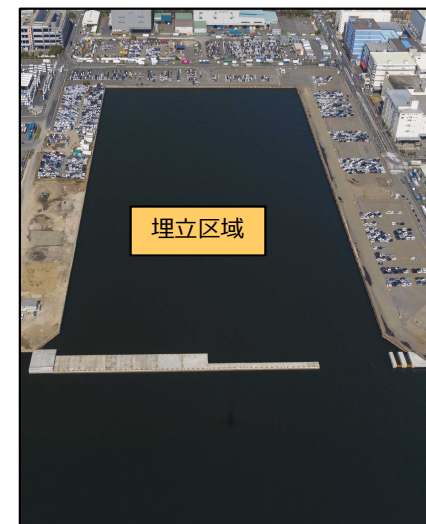
- ・ 川崎港コンテナターミナル背後の約23haを「東扇島総合物流拠点地区」に位置付け
- ・ 「東扇島総合物流拠点地区形成計画」に基づき、高機能物流施設が進出。コンテナターミナル近接という特徴を活かした事業展開が行われている。
- ・ 全区画に事業者が進出済

企業名	施設概要
POSCO Japan PC(株)	鋼材の輸出入、保管、加工及び販売
山九(株)	日用雑貨等を取り扱う総合物流センター
(株)ニチレイロジグループ	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
(株)ヨコロジ	中古自動車の輸出及び通関代行
日本郵便(株)	郵便物（国際・国内）の配送センター
(株)松岡	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
山手冷蔵(株)	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
(株)マルハニチロ物流	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
荒井商事(株)	中古自動車のオークション及び輸出

土地の造成

実施主体：川崎市
 実施期間：～令和9年度
 埋立面積：13.2ha
 事業概要：

- ・ 東扇島掘込部において建設発生土を埋立用材として受入れ、海面埋立による土地造成事業を実施
- ・ 増加するコンテナ貨物や完成自動車に対応するための用地、倉庫建替えの代替用地を確保
- ・ JR東海の費用負担により土地造成に必要な護岸築造工事等を実施

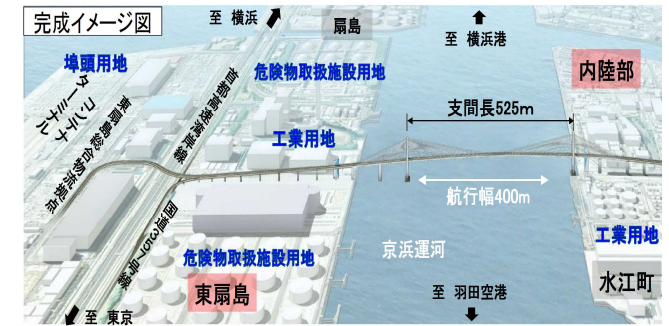


6 国際コンテナ戦略港湾政策の取組【競争力強化】

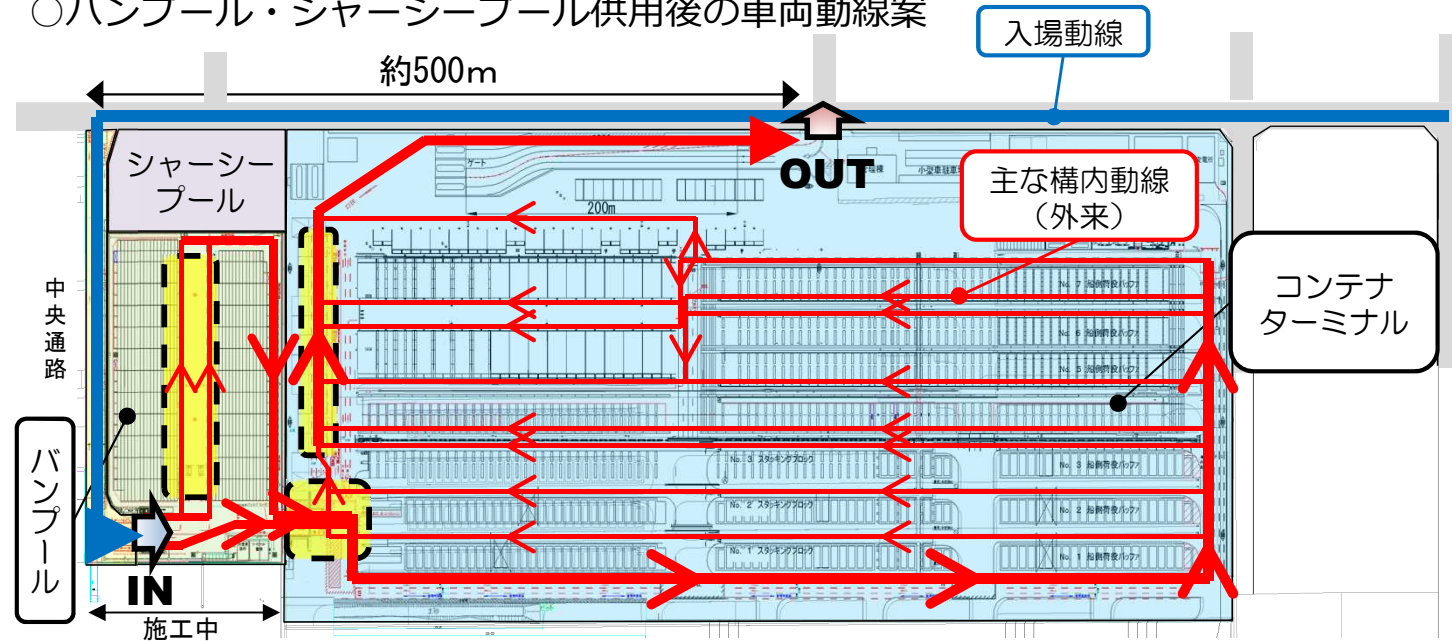
- 官民目標であるコンテナ取扱貨物量20万T E U／年に対応するため、コンテナターミナル隣接地にバンプール及びシャーシプールを整備している。当該施設等を効果的に活用するため、供用後の車両動線等について官民で検討中。
- 臨海部ネットワークの充実による**物流機能の強化**及び防災機能の強化を図るため、コンテナターミナルや物流拠点が集積する東扇島と内陸部を結ぶ臨港道路東扇島水江町線を整備している。

○臨港道路東扇島水江町線整備の推進

事業主体：国土交通省 関東地方整備局
 事業期間：平成21年度～令和9年度
 延長：3.0km
 規格：第4種第1級 往復4車線



○バンプール・シャーシプール供用後の車両動線案



バンプール・シャーシプール

その他の取組について

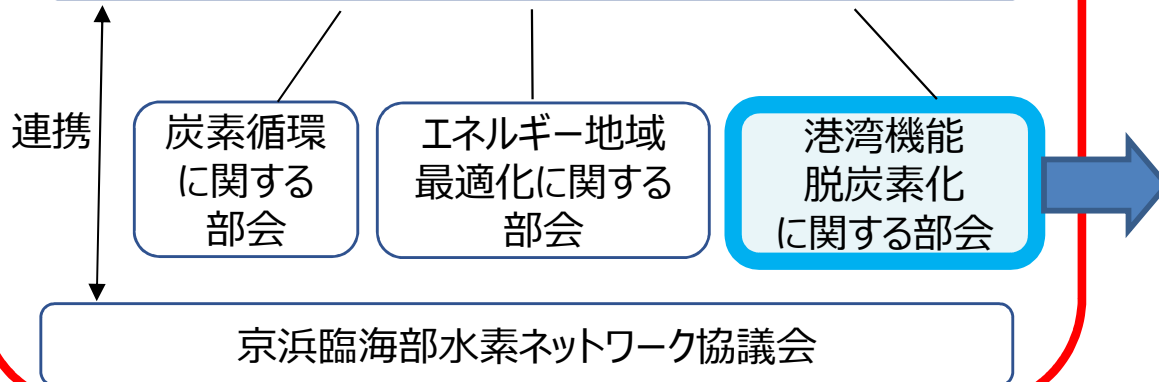
7 コンテナターミナルの脱炭素化に向けた取組

- カーボンニュートラルポートとカーボンニュートラルコンビナートの形成を一体的に推進するため、令和4年5月に合同の協議会を設置
- コンテナターミナルの脱炭素化についても当協議会の部会において、官民の関係者により具体的な取組を検討中

川崎カーボンニュートラルポート形成推進協議会

- 設立 令和4年5月12日
- 体制
 - ・市長を会長とし、有識者、川崎臨海部立地企業や港湾関係企業等及び国土交通省関東地方整備局で構成（令和4年11月時点で73団体）
 - ・協議会の下に部会を設置し、炭素循環、エネルギー地域最適化、**港湾機能の脱炭素化**について検討を実施

川崎港カーボンニュートラルポート形成推進協議会 (川崎カーボンニュートラルコンビナート形成推進協議会と合同開催)



<コンテナターミナルの脱炭素化をテーマに検討>

- 参加者 : ターミナル管理関係企業及び荷役機械関係企業6社
- 事務局 : 川崎市港湾局
- 検討状況 : 荷役機械に関する技術開発動向についてヒアリング、脱炭素化に向けた取組内容についての意見交換等

